

<紹介> 小学生バレーボール今市教室:「すだちクラブ」との交流事業

- 1 日時 平成28年10月8日(土)10:00~12:00
※今回は第2回として実施 第1回は9月3日(土)実施済 第3回は12月予定
- 2 会場 サンアビリティーズいずも
- 3 参加者 20名
・今市教室:児童6名、指導者&保護者5名
・NPO法人IZUMO自立支援センター「すだちクラブ」:児童5名、指導者4名
- 4 内容 (1)名前紹介
(2)準備運動 ランニング、ストレッチ、ギャロップ・クロスステップ等
(3)ソフトバレーボールを使った基礎練習①(ペア)
ボール転がし、ボールキャッチ、トスの形でキャッチ
(4)試しのゲーム
(コート)バドミントンコート、ネットの高さ180cm、4人1組
(ルール)5回以内に返す、ワンバウンドOK、キャッチトスOK
(5)ソフトバレーボールを使った基礎練習②(ペア)
キャッチボール(野球型、たたきつけ型)
アタック練習
①下に投げる ②自分で打つ ②相手にボール上げてもらって打つ
(6)ゲーム

・ソフトバレーボールを通じた健常児と障がい児の交流を第一に考えたプログラム構成
・その時々障がい児の状況に合わせて、すだちクラブの指導者が個々に支援



健常児 → やさしい目差し、やさしい声かけ、相手に合わせた態度
障がい児 → 生き生きとした表情、体を動かすことの心地よさ、頑張ろうという態度



よく声かけをしている子もいて、思いやりが育つといえます。この交流を普段の練習や試合での態度につなげていってほしいと願っています。

今市教室指導者の声

最初は難しいと思っていましたが、子ども同士の間わりによって、楽しいという声を聞くことができました。今後は、すだちクラブでもこういった交流を計画してみたいです。

すだちクラブ指導者の声

両者で話し合っ内容や場、ルールを工夫していくとよいと思いました。こういった交流を行っているスポーツ少年団は、ほとんどないので、スポーツ少年団の在り方等を見つめ直す意味でもこの取組を紹介できる場を設けることが必要ではないかと感じました。